

# 京表具の逸品を揃えたオンラインショップ【sense of 京表具】が完成！ 2022年2月28日に公開

～ 京都表具協同組合が運営するWEBサイトだからこそできる、正真正銘の「京表具」の逸品を販売 ～

ベテランから若手まで表具師62名が所属する京都表具協同組合（所在地：京都経済センター4階 理事長 田中善茂）では、京都市中小企業デジタル化推進事業の採択を受け、所属組合員が制作した「京表具」の逸品を販売するECサイト「sense of 京表具」<https://sense-of-kyohyougu.com> を完成させました。今までには無かった正真正銘の「京表具」オンラインショップの誕生です。2022年2月28日（月）より一般公開いたします。



## 日本の美意識を極限まで追求した伝統工芸「京表具」

古の都で活躍した匠の技と伝統を今に伝える京都の表具師たちの作品は、世界に2つとないハンドメイドの作品ばかりです。

[sense-of-kyohyougu.com](https://sense-of-kyohyougu.com)

### ■ 京都の美意識に支えられ、発展してきた「京表具」

日本美術と文化を象徴する真の傑作と言える絵画、書を彩り続けた「京表具」は、古の都に活躍した匠の心・技を今に伝え、日本の美意識を極限まで追求した伝統工芸です。

私たちは、「この本紙を掛け軸・額にしたい。屏風にしたい。」とお客様からご依頼を受けると、最初に本紙について考察をします。書であれば言葉の意味、画であれば何を表しているのかを読み取り、取り合わせをします。

取り合わせとは、本紙の持つ意味によって、表装形式、表装裂の組み合わせや配色、寸法などを選定するもので、表装作業で最も重要な工程です。無限の裂地の取り合わせから選ばれた、たった一つの本紙と裂地の出会い。調和という域を超え、出合うべくして出合った取り合わせこそが「京表具」の真髄であると私たちは考えています。

### ■ 私たち 京都表具協同組合について

私たち京都表具協同組合は、掛け軸・屏風・額・襖の新調や修復、和洋室内装など、千年の歴史を持つ「京表具」の

伝統と技法と、たゆまぬ研鑽で修得した新しい技法であらゆるご用命にお応えする伝統工芸職人「表具師」の集団です。

京都表具協同組合は、第二次世界大戦後の混乱期を経て、ようやく経済復興しつつあった昭和30年に創立されました。相互扶助精神に基づき、業界と組合員が共に繁栄することを目的としています。昭和34年2月に法人化し、京都府知事認可団体として活動しています。

「京表具」は、平成9年に経済産業省から伝産法に基づいて「伝統的工芸品」の指定を受け、平成19年1月に特許庁より地域団体商標登録(第5020348号)を受けました。私たちは、正当なライセンスに基づいて「京表具」の名称を使用しています。

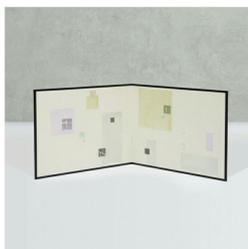


表具師画像

## ■ 商品について

- 京都表具協同組合の審査に合格した商品しか販売いたしません。

### 最新商品



屏風 FUROSAKI  
¥500,000



屏風 エイジング加工 利形創作屏風  
¥400,000



屏風 月の宴 (つきのうたげ)  
¥480,000



屏風 砂子泥引き細工屏風  
¥100,000



掛け軸 gift (フォト・ポストカード掛け)  
¥100,000



掛け軸 寿山満瑞気  
¥800,000



掛け軸 扇面 高瀬  
¥200,000



掛け軸 瀧画賛  
¥280,000

### 作品紹介

- 現在、撮影中・審査中の商品などを続々と追加して行きます。
- 今後、たくさんのお客様に利用していただけるようけるように魅力的な商品をどんどん増やして参ります。



京都表具協同組合のプレスリリース一覧

[https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company\\_id/74480](https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/74480)

---

【報道関係者からのお問い合わせ先】

京都表具協同組合 専務理事 田中 浩

〒600-8009

京都市下京区四条通室町東入

函谷鉾町78番地

京都経済センター4階 420号室

TEL : 075 (748)1600

FAX : 075 (748)1625

web : <https://shosendo.fun/>

mail : shosendo16@ybb.ne.jp

instagram : <https://www.instagram.com/shosendo.fun/>